

# 保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2015年  
11月13日(金)  
第133号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

## 11.3保育大集会に全国から3500名。 東京自治労連から679名が結集！

11月3日、「子どもたちによりよい保育を！11.3保育大集会」（主催：よりよい保育を！実行委員会）が秋晴れの日比谷野外音楽堂で開催されました。

全国から、「子どもたちに平和な未来」と「よりよい保育環境」を求める多くの保護者や保育・学童保育関係者、子ども連れの親子など、3500名が会場を埋めつくしました。

集会は、「公立・民間青年保育士有志の会」によるオープニング『HEIEAの鐘』の大合唱で幕をあげ、高柳自治労連副委員長の開会あいさつの後、基調報告が行われ、「子どもの権利を最優先に、誰もが安心して子どもを産み、育て、働き続けることができる保育・学童保育・子育て支援の実現を求めて、学び、手をつなぎ、行動しよう。」と訴えました。

公的保育・福祉を守る東京実行委員会のパフォーマンスも毎年の恒例となり、『バットマンと仲間のコウモリたち』が東京都に向け、ローカルオブティマム（地域の最適条件）の策定を求める項目を含む都議会請願署名に取り組んでいることを報告しました。その他、保育士の処遇や労働実態と改善の課題について福祉保育労宮城支部の報告や赤ちゃんの急死を考える会、所沢市の保護者による育休退園問題についての発言など多数の地域による活動報告・訴えがありました。さまざまな地域の取り組みに元気をもらい、これからの活動への決意を固め、参加者一同で集会アピールを採択しました。集会には自治労連以外にも、練馬区職労や三多摩地域など多くの自治体保育労働者が参加しています。

集会後は元気に銀座の街をパレードし、参加者の熱い思いをアピールしました。

なお、自治労連は集会に先立ち、銀座マリオン前や数寄屋橋交差点周辺で署名宣伝行動を行い、東京自治労連からも42名が参加しました。チラシを配布しながら署名への協力を訴えると、街ゆく人々の反応はよく、短時間で多くの署名を集めました。



## 「自治労連 保育・学童保育闘争推進意思統一集会」を開催。20都道府県148名が参加！

パレード終了後、「自治労連保育・学童保育闘争推進意思統一集会」が開催され、東京自治労連からも32名が参加しています。高柳副中央執行委員長のあいさつの後、篠原保育闘争委員会事務局長による情勢報告と行動提起がありました。

『新制度』は、これから具体化が続きます。これからも自治体や自治体議会に対する運動がとりわけ重要です。『できることはなんでもする！』という決意で頑張りましょう。」として、①公的保

育を守り、拡充を求める国会請願署名（目標300万筆）に取り組もう。②各自治体の「地域行動計画」について点検・分析しよう。（制度が始まったからこれで終わりではなく、実地後の調査が重要）③公立保育園の民営化や統廃合、「認定こども園」化の押し付けを許さない取り組みを進めよう。

（認定こども園など、児童福祉法第2項における施設を第1項と同じように区市町村の実施義務にさせる）などの具体的行動が示されました。

情勢報告・行動提起を受けて、大阪、岡山、東京、茨城、学童連絡会から決意表明を含む取り組みの報告がされ、フローアからも所沢や四日市などから積極的な発言がありました。

最後に高橋保育部会長は、「若手だけではなくみんな頑張っている。保育とは子どもたちの安楽を守るものだ！」と述べ、今後の運動への大いなる意思統一・決意を込めて、みんなで「団結がんばろう！！」を行い、集会は多いに盛り上がりました。

**【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】**